

入場
無料

申込
不要

定員
200名

直接会場へ
お越しください。

2024 11月9日(土)

13:30~16:30【開場 13:00】

会場：北九州国際会議場 国際会議室

(北九州市小倉北区浅野 3-9-30)

【主催】公益財団法人上廣倫理財団

【共催】北九州市・九州産業遺産研究会

【後援】文化庁・福岡県教育委員会・北九州市教育委員会

※満席の際はご入場を制限させていただく場合がございます。

北九州市・上廣歴史文化フォーラム

日本遺産をたずねて

北九州から

日本のカーネギーを

目指した佐藤慶太郎

写真 佐藤慶太郎



「石炭は龍、美術館は華
—公私一如の九州人
佐藤慶太郎」

講演①



齊藤 泰嘉氏
筑波大学名誉教授

「あの『山の上ホテル』のルーツは
『佐藤新興生活館』であった
—佐藤慶太郎が関与した新時代への布石」

講演②



芹野 与幸氏
一粒社ヴォーリス建築事務所顧問

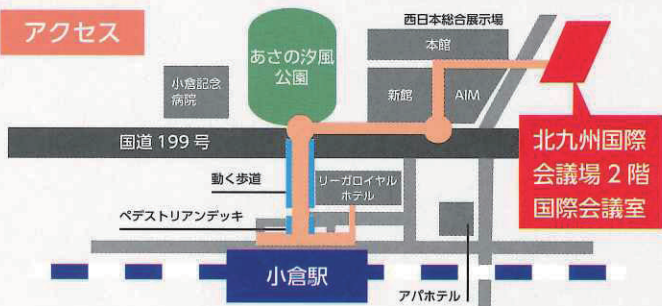
鼎談



時里 奉明氏 筑紫女学園大学教授
コーディネーター

齊藤 泰嘉氏 芹野 与幸氏

アクセス



JR 小倉駅より徒歩5分

※新幹線口(北口)から動く歩道で快適にご来場頂けます。

※お車の場合は周辺の有料駐車場をご利用ください。

駐車場に限りがあるため

できるだけ公共交通機関での来場にご協力ください。

若松の石炭商として頭角を現し、さらに炭鉱経営で成功した佐藤慶太郎は、日本の産業近代化に大きく貢献しただけでなく、労働者の福利厚生に取り組み、人々の生活や教育、芸術や文化の向上を願い、私財を投じて日本初の公立美術館である東京府美術館(現東京都美術館)や、佐藤新興生活館(後の山の上ホテル)を創設しました。

佐藤は若いころ、アメリカの鉄鋼王カーネギーの言葉「富んだまま死ぬのは、恥辱である」に感銘を受け、それを実践しました。

佐藤の精神は北九州の文化に息づき、歴史的遺産として今日に受け継がれています。

佐藤慶太郎の功績をふりかえり、現在に継承された遺産について考えます。

写真上 東京都美術館 旧館外観 1970~75年撮影/東京都美術館所蔵 写真下 佐藤新興生活館(後の山の上ホテル) /一粒社ヴォーリス建築事務所提供

お問い合わせ 北九州市都市ブランド創造局文化企画課文化財係

TEL 093-582-2391 (平日9:00~17:00)

Eメール brand-bunkakikaku@city.kitakyushu.lg.jp

※お問い合わせはなるべくメールでお願い致します。